**北大生協2022年度 第11回定例理事会　発言録**

1　日時　2023年4月19日（水）　18:15～20:10

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

 　　　林忠一常務理事 （自宅、札幌市中央区）

鏡秀隆理事 （酪農学園生協、本部）

　　　　　　伊藤美香理事 （自宅、札幌市清田区）

今村央理事　　 （自宅、北海道函館市）

小川美香子理事 （出張先、横浜市）

コリー紀代理事 （自宅、札幌市白石区）

3　出席役員

理事総数　　18名中16名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、林忠一常務理事、小松慎太郎常務理事、田代直也常務理事、鏡秀隆理事、金川眞行理事、伊藤美香理事、今村央理事、小川美香子理事、コリー紀代理事、髙木暉馬理事、石本万象理事、野呂香綸理事、逸見京花理事、羽木康祐理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）小篠　隆生理事、、奥山莉子理事、

監事総数　　5名中4名出席

（出席監事）岡野泰樹監事、浦田翔吾監事、黒川昇悟監事、寺西ほの花監事

 （注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）芳賀永監事会議長

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤真廣店舗事業部部長、

寺澤一彦専務補佐、百石一也マネージャー、片木圭二理事会室室長

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　小松常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に小松常務理事を選任した。小松常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

議決事項

**第1号議案：2023年3月期の営業総括と決算承認の件**

特に意見質問はなく終了

**第２号議案：****2023年北大生協度総代会関係　議案書承認の件**

（小助川）　議案書63ページ予算年度が22年と間違っている23年に修正します。

**第３号議案：2023年度第1回理事会への申送り事項決定の件**

（坂　爪）　常務理事は互選じゃなくてというよりもメンツがあってこれでいいですかという決め方をやめましょうということが

提案の主旨。先ほど専務から規定がないと選挙ができないと言いましたけど新しい理事会の時に選挙のやり方を決めて、その時に必要であれば原案を用意すればいいと思います。それが理事会で承認されればその場で即時に選挙をやっても全く手続き上問題ないと思います。常務理事の決め方が定款上総会議決事項であれば無理ですけど、そうでない限り大丈夫じゃないか。それは後で確認したいと思います。 この場で申し上げておきますけど票読みか根回しは別にそれを否定してるわけじゃなく、この方が選ばれないと困るとかはしっかり理事の間で根回しても構わないし、もう一つは去年、一昨年の常務理事会は男子校状態が続いていて、これは明らかに不正常だろうと思います。選挙でもし普通にやる場合には女性枠を一人、二人決めておくことも必要だと思っている。ラジカルすぎるってことであればこの場でもこの後でも色々出していただいて、この辺はやめたほうがいいなど出していただきたい。この場で議論できることが一番いい。私の主旨はこういうことです。

（小助川）定款、規則で常務理事の選出についてこういう選出の方法について定めている項目は見受けられなかった。

どのように選出をするかは理事会で決めればいいと思う。去年は常勤常務理事1名教職員理事から1名、

5名は院生、学生理事から互選。常勤常務理事が互選される前は教職員理事から1名、院生、学生理

事から6名が互選されていた。この辺のバランスを考え女性常務理事を１、2名選出しましょうと5/25ま

で決めて準備する必要がある。

（坂　爪）規定など確認しなきゃならないので協力していきたい。

（金　川）申し送り資料の定款第28条の規約しかないのでは。

（坂　爪）これに連動する規則がないとすればこれだけでは。

（嶋　崎）理事会規則第16条を読むと理事長が決めると書いてある。

（坂　爪）無投票っていうのは大嫌いなわけで皆さんに選挙で選出することを説明したい。ルールは検討したい。

（小助川）坂爪理事長、小助川専務、齋藤部長を検討し5/25（木）第1回理事会で提案できるようにしたい。

（石　本） 申し送り事項で議論することではないかもしれないが、留学組織委員会のところで再建を目指すと出ている。

具体的にどのようにメンバーを募っていくのか、以前は普通に活動していた時期があると思うがどういう形で募

集して活動していたのか教えてほしい。

（髙　木） 以前は委員の知り合いの仲間を辿ってとか来年度は今年の委員の知り合いから紹介してもらった。活動は

　　　　　　　 ウェルタムパーティーが4月とか9月とか10月に行われたのでその時に参加者が多いのでそこから委員に加

入してもらうことが多かったと思います。

（石　本）今年度もやるとしたらそういう形で委員を探すのか。

（髙　木）今年度に関しては理事会室報告の留学生委員会活動報告で報告します。

（野　呂）議案書のことですが、役員名簿のフリカナが間違っている。

（金　川）役員名簿の写真、縮尺が変更されているようで違う人のように見えるので直してほしい。

（小助川）フリガナ、写真について修正します。

**第4号議案：大学生協事業連合2023年度役員候補推薦の件**

特に意見質問はなく終了

**第5号議案：2023年度北海道生協生活協同組合連合会の役員（理事）推薦の件**

特に意見質問はなく終了

**第6号議案：⾷堂部⾷⽤油使⽤量削減のための設備投資（油延命装置購⼊）の件**

（金　川）この設備の耐用年数はどのくらいか。

（寺　澤）メーカーの情報では概ね5年位と聞いている。

（小　松）フライドテックを導入する予定の提案、東北大学生協の実証結果で報告されているが東北大生協の納入

実績はWOW　TPMテスターになっている。実証結果は違うのでは。

（寺　澤）同様の物としてお考えください。

（寺　澤）カタログでは50%削減できるとなっていますが使ってみるとこのような差異が出てくると受止めている。札幌市

内ではコープさっぽろが導入している。

**第7号議案：組織委員任免の件について提案がなされ、全員異議なく承認された。**

(羽　木)　学生委員の名前が違う　村上健ではなく村上健太が正しいです。

(小助川）修正します。

**協議事項**

**議案：北大生協環境方針改定について**

髙木理事より、北大生協環境方針改定について提案

(石　本)　6-2の環境に関わる体制とは具多的にどのような体制をイメージしていますか。

(髙　木)　個人的な意見になりますがこれまでの環境マネージメント体制は組織的ではなかった。例えば環境課題推進委員会が活動していて、あと衛生委員会が活動している。今までは自然環境だったので環境課題推進委員会が中心に担っていた。今回は労働環境とか安全性とか衛生などが入ってきたので衛生委員会と環境課題推進委員会との住み分けが必要だと思うので、これまでの体制では足りないタスク、逆にこれまであったけど改めて内容を変えた方がいいことから進めたいと考えている

(石　本) 理事会、学生委員会など各組織委員会で活動するときに、都度環境方針にこう書いてあると確認しながらの活動にしなければならないと思う。論点を明確に示してもらってあとから評価します。

(髙　木) 理事会での議論を踏まえて新しい体制を築いていかなければならないと考えている。

(田　代) 内容以外のことですがこの環境報告の採択、可決されるまでの動きはどのような進め方をするのか。作成の段

階で色々議論があったと思うので教えてほしい。

(髙　木) その資料をのせればよかったと思っている。これに関しては来月の総代会で現在の環境活動に関して議論を行

えればいいなと思っている。現場の職員さんに共有できていないので共有して意見をいただいたあと2024年度理事会で数回議論を重ねて最終的に理事会で議決をしてもらいたい。

(髙　木) 文章量が多いのでこのあと気づいた点、意見があればメールで発信してもらいたい。

(金　川) 環境の概念を広げるのであれば北海道大学ダイバーシティクルージョンに宣言しているので改定ポイントのパー

トナーシップの理念を実現するところで地域の連携が出てくる。せっかくここまで広げるならそちらも意識して含めてることが分かるイメージにしたほうがいい。サステイナブルキャンパスアクションプラン、キャンマスタープランにもつながっていることをわかるようにしたほうがいい。

(コリー)　環境の新しい捉え方についてとても勉強になりありがとうございます。実施していく際に評価が難しいと思う。いく

つかの項目、ひとつだけでも評価しやすいものを作って成果がみえるような取組みを予定しますか。

(髙　木)　評価項目について検討し今後作っていきたいと考えている。例年環境報告書を出している。生協内で共有、

組合員への発信をやっていかなければならない。大学のサステイナブルレポートみたいにこの方針に基づいて評

価項目を設定して委員会や理事会で評価して、評価結果を環境報告書にまとめて発信する流れ、方針と評価を一体化することを念頭において環境課題推進委員会で議論しています。いま数値目標はないが今後数値、行動目標を設定できるように考えていきます。

(コリー) 　保健科学研究院では毎月ように電気使用を教授会で報告している。例えばトイレの蓋をしめておくと電気使

　　　　　　用量が減少した月もあったが毎回減る、減らし続けることは難しい。どのあたりで適正なのか昨年と比べて減っただけでは難しいだろうなと思っている。

(髙　木) 大学のホール、学部の取り組み状況によって差があるので色々な学部の事例をみて勉強したい思います。

(石 本)　評価の話しで、方針をたてて活動をおこなって評価する流れだと思うが、評価の時に事後的にどの方針を出すべきかを振返ってでは遅いと思うので、活動するときにこの方針に基づいて活動しますと明確に示しておくとあとで方針に沿った活動ができたか総括がしやすくなる。理事会、学生委員会など各組織委員会で活動するとき都度環境方針にこう書いてある。確認しながらの活動にならないことだと思う。論議を明確に示してもらってあとから評価しますになると方針意味がでてくると思います。あと意識すると沢山書いてあって意識するだけなら達成できない。明確にこれに基づいて活動しますと示すことがより良いかなと思いました。

(髙　木) 各組織委員会個別ではなく全体で行ったほうがいいということでしょうか。

(石　本) どちらでもいい。各委員会で環境方針が明確に示されいて活動しやすくなればいい。

(金　川) 北大生協の物品購入についてもこの方針に沿って購入することになりますか。北大生協は教職員の生活を担う事業者であり自覚して配慮していていくのか。最近民間企業では環境負荷の少ない家電品、食材とかの購入が求められている。これはどのように作られたものなのか中身を示せないと購入しないという話がでてくる。そうすると高い食材とかを高いもの仕入れることになる。大赤字の北大生協には厳しいことなる。範囲は全てなんですよね。

(髙　木) 全てなので経営がサステイナブルでない時点でだめ。お財布に優しいものは環境にも優しい。先ほどの油の危惧も減価償却が1年、1年スパンで見ているはとてもいい提案だと思っています。

(金　川) 5年後設備の入替えが発生すると400万円費用負担となる。

(髙　木) 方針は意識面を変えるためにも大切と捉えてほしいです。

**報告事項**

報告事項１：新学期活動の報告

理事、監事より特に意見質問はなく終了

報告事項２：学生、院生、教職員、留学生組織委員会の報告

(金　川)　留学生組織委員会のメンバー募集の件で大学の国際部に聞いてみて連絡する手段がないか聞いてみようかなと思う。まずは中の留学生に伝達した方が良いと思う。

報告事項３：環境課題推進委員会の報告、環境マネージメント報告

理事、監事より特に意見質問はなく終了

報告事項4：理事会室報告

(小　川) クールビズの報告資料でタイポが沢山あるのでチェックした方がいいです。

(小助川) 再点検をして修正します。

(金　川) 報告以外のことなんですが、大学120周年、125周年のとき北大生協は何か企画を取り組みましたか。

(小助川) 今日のところではお答えできる情報がないので調べてみます。